

自死の自己責任論と遺族たちの尊厳回復へ向けて

自死の要因をめぐっては、さまざまな視点から論じられてきました。そのなかでこれまで一般化されてきたと思われるある傾向性として、自死の自己責任論があります。

そしてまた、この「自己責任論」により遺された遺族たちは一層、自身の責任を問われ、責め立てられ、強い罪責感に追い込まれることも多くなりがちです。果たしてその考察は、妥当だと言えるのでしょうか。

本研修会では、自死の自己責任論と遺族たちの罪責感、自責感について考察し、さらには自死遺族たちの尊厳の回復をめざす新たな展望を探り合います。

【開催要項】

- 日 時 2020年2月29日(土) 13:00～17:00
- 会 場 東京・四谷「主婦会館」プラザエフ (地図参照)
- 参加対象者 ・自死遺族支援・自助グループのスタッフ(世話役) ・自死遺族支援・自殺対策に携わる行政関係者 ・いのちの電話相談スタッフ ・今後スタッフを志す方 ・支援・自助グループの立上げを意図する関係者など
- カリキュラム 別紙を参照ください
- 定 員 約50名
- 参加費 1,000円
- 申込み 2020年2月10日頃までお申込みください。
- 申込み先 郵送、ファックス、メールにて、以下まで。
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-2-6 カルム第2 赤坂 103 号
「自死遺族ケア団体全国ネット」 Fax:03-5775-3871
メール: info@jishicare.org

主 催 自死遺族ケア団体全国ネット

後 援 厚生労働省 一般社団法人日本いのちの電話連盟
NPO 法人グリーフケア・サポートプラザ
NPO 法人生と死を考える会

自死遺族の尊厳回復へ向けての展望を探る

【カリキュラム】

【基調提言】 自死の自己責任論と自死遺族たちの尊厳

(13:00～14:00)

講師：奈良女子大学名誉教授、放送大学客員教授。日本社会病理学会会長

清水 新二氏

自死の要因についてのさまざまな考え方や体験から、自己責任論の妥当性是非について考察します。そしてまた、自己責任論により一層罪責感を掻き立てられる遺族たちの立場を理解し、自死遺族の尊厳回復の可能性等に、長く自死問題の現場や調査、研究に関わってこられた立場から提言していただきます。

〔休憩〕

(14:00～14:10)

【パネルディスカッション】

自死遺族の尊厳回復に向けて

(14:10～16:30)

自死遺族支援・自助活動の現場にて活動されている支援者、当事者の立場から、自死の自己責任論と遺族の自責感について、そこからさらに自死遺族の尊厳回復に向けて、具体的視点から問題提起し、考察し合います。

【パネリスト】

○岐阜県「千の風の会」 代表

木下 宏明氏

○グリーフケア・サポートプラザ副理事長

吉久 小夜子氏

○上智大学グリーフケア研究所講師

三輪 久美子氏

○行政関係者(予定)

行政の自死対策担当者

【コーディネーター】

○自死遺族ケア団体全国ネット代表

藤井 忠幸氏

※パネルディスカッションの途中に適宜小休憩をとる予定です。

○木下宏明氏プロフィール

18年ほど前に妻を焼身自殺で喪う。その5年後に1人息子が失踪後、自死。その後、岐阜県及び精神保健福祉センターと共に「遺族の集い」発足に取り組み、2009年1月にスタート。現在、「千の風の会」代表、また岐阜県総合自殺対策協議会委員として自死遺族の想いを行政に反映する活動を実施中。

○吉久小夜子氏プロフィール

息子を自死で亡くし13年。「NPO法人グリーンケア・サポートプラザ」と「自死遺族とうきょう自助グループ みずべの集い」のスタッフとして、自死遺族にとっての安心・安全なこころの居場所を模索中。NPO法人グリーンケア・サポートプラザ副理事長。東京都世田谷区自殺対策協議会委員

○三輪久美子氏プロフィール

日本女子大学大学院人間社会研究科博士後期課程満期退学（博士：社会福祉学）。専門はグリーンケア。NPO法人グリーンケア・サポートプラザのスタッフとして活動に参加。米国滞在中には米国の遺族支援ボランティア活動に参加、学ぶ。現在、上智大学グリーンケア研究所講師。兵庫・生と死を考える会の遺族会ファシリテーター。NPO法人グリーンケア・サポートプラザ理事等。

【まとめに際してのコメント】

(16:30～17:00)

○自死遺族への社会的偏見の脱皮と尊厳回復へ

講師：自死遺族ケア団体全国ネット代表

藤井 忠幸氏

※講師やテーマ、時間等は、都合により変更になることもあります。

